

2019年4月17日

非血縁者間

骨髄採取認定施設採取責任医師各位

末梢血幹細胞採取認定施設採取責任医師各位

日本造血細胞移植学会移植認定診療科責任医師各位

公益財団法人 日本骨髄バンク

理事長 小寺 良尚

一般社団法人 日本造血細胞移植学会

理事長 岡本真一郎

非血縁者間骨髄提供者死亡事例（米国）について

2019年2月米国において、骨髄提供後のボランティアドナー（以下、ドナーという）が昏睡状態となり、約1か月後死亡したとの情報が、4月12日全米骨髄バンク（NMDP）から当法人に提供されました。

NMDPからの報告によれば本事例に関する情報は以下のとおりです。

当該ドナーにおいて、コーディネート過程で本人から、睡眠時無呼吸（sleep apnea）（＝無呼吸症候群）ならびに鎌状赤血球貧血（sickle cell anemia）のキャリアーであるとの申告があったため、採取チームは当初予定の末梢血幹細胞採取から局所麻酔下での骨髄採取術へと変更しました。

同年2月骨髄採取後、当該ドナーは昏睡状態に陥り回復することなく約1か月後に永眠されました。

本邦においては、非血縁骨髄提供者に対するドナー適格性判定基準が厳格に定められており、上記のような既往歴や現病歴のある場合は採取施行に至らないことを申し添えます。

最後に、ご遺族の方々、関係者の皆様に心より哀悼の意を表します。

なお、本事例に関して新たな情報が得られましたら改めて情報提供いたします。

◎情報

- ・提供者：40歳代 男性
- ・局所麻酔下での骨髄採取後、昏睡状態となり、約1か月後死亡に至った。

以上

公益財団法人 日本骨髄バンク

ドナーコーディネート部 折原・杉村・窪田
TEL 03-5280-2200 / FAX 03-5283-5629